



NO.1282

9月6日 発行所

日本共産党 網走市委員会 網走市北八西三 四四三 四四五八 F 四三二 四四五七



コロナ対策について 9月議会始まる

9月1日から議会が始まりました。村椿議員の一般質問は、1項目めは災害に強いまちづくりについて①避難計画。②特別警戒区域。③避難所運営。④高潮対策について。

2項目めは立地適正化計画について①地産地消の取り組み。②農産物、水産物の加工製品。③学校教育の取り組みについてです。

松浦議員の一般質問は、1項目めは、新型コロナウイルスの3波に備えた取り組みについて、①感染者が出た場合の保健所と市の連携。②介護事業所等への支援とPCR検査、抗体検査。③GO。

共闘の要、日本共産党を大きく

「国会かけある記」8月31日

参議院議員 岩淵 友



安倍首相が辞意を表明しました。突然で驚きました。持病が再発したとのことであり、体調の回復を願うものです。

同時に、一刻も早く臨時国会を開いて首相を決め、最大の課題となっている新型コロナウイルスへの対応について審議をしなければなりません。

安倍政権のもとで、国民の声を聞かない政治、嘘とごまかしの政治、憲法を壊す政治が行われてきました。印象深いのは、東京電力福島第一原発事故は「アンダーコントロール」とした発言。安倍政権のもとで原発事故を終わらせた

TOトラベルキャンペーン。④スポーツ合宿来訪者への対応。

2項目めは、新型コロナウイルス禍における児童・生徒への対応について①コロナ禍の子どもの現状と手厚い教育・柔軟な教育。②子どもたちの新型コロナ感染対策。③低所得世帯への支援。④教職員の増員について、この間、日本共産党の政策などを参考にしながら網走市民の声を受けて、新型コロナ対策について質問します。

一般質問は7日から始まります。村椿議員は4番目、松浦議員は8番目に質問します。議会の傍聴をよろしくお願います。

「国会かけある記」8月31日
「次の首相は誰かということばかりが話題になるが、誰がやっても同じ」という意見も出ています。候補に名前があがっているのは、安倍政権を支え、結局は安倍首相に従ってきた人たちです。自民党政治そのものを終わらせる。新しい政治をつくるチャンスです。そのカギとなる市民と野党の共闘を広げ、その要となる日本共産党を大きくするために引き続き力を尽くします。

松浦奮戦も



安倍首相が8月28日に辞意を表明しました。持病が再発してということなので、体調の回復を願うものです。

しかし、安倍首相が7年8カ月で残したものは何かを考えると腹立たしいことばかりです。2012年12月に第2次安倍内閣が発足、翌年8月には生活保護費の削減、特定秘密保護法を強行、靖国神社参拝。14年4月消費税8%引き上げ、後期高齢者医療保険料引上げ、内閣人事局を発足し省庁の人事権まで持つ（付度の始まり）、医療・介護総合法の成立、集団的自衛権行使容認を閣議決定、15年の4月医療・介護総合法による改悪開始、要支援を介護保険給付から外し、特養入所を「要介護3」以上に限定。15年9月には安民法制「戦争法を強行など憲法違反の政治が続きました。

そして、森友、加計問題、桜を見る会など国政の私物化も目に余る。「丁寧な説明」は口だけで、何も説明はありませんでした。そこに、新型コロナ対策の遅れをはじめ課題が山積みし、行き詰って辞任したと私は思っています。

村を駆け回る



先日、友人から鹿肉をいただいたので鹿ジャーキーを作

る。スマホのレシピによると、酒・塩・砂糖・にんにく・コショウで一晩漬け込む。水気を取り、網の上で扇風機と温風で1日以上乾燥させると出来上がる。燻製を作り始めて10年は超えるが、富山で漁師をしていた祖先の血からか作るのが楽しい。北海道は鹿が多く、農産物の被害を減らすとして網走では年間300頭以上駆除されている。脂が少なく、低カロリーなのに高たんぱく、鉄分も豊富でヘルシーだ。また作りたい。

「おいしいまち網走」は味覚のいいだけでなく、自然・景観・体験・歴史・文化・人とのふれあいを含めた広い意味での「おいしい」である。子どもたちが網走で暮らして良かった。暮らしてみたいと思えるまちづくり「おいしいまち網走」だ。多くの場面で使われる言葉にしていきたいと思う。

流水

安倍首相の辞任がアベ政治の終わりではない。全生連（全国生活と健康を守る

会連合会）では生活扶助費の引き下げは憲法違反として「いのちのちのち」とりて裁判を戦っています。この7年8ヶ月、年金や生活保護費の削減、消費税の2度に渡る増税、医療費、介護保険料の引き上げ、さらにコロナ禍で国民の生活やなりわいが危機に瀕しています。安倍首相、あなたが退陣しても大番頭があとがまに居座る。▼こんな自公政権に印籠を渡す時が来ています。日本共産党田村智子議員の質問に「文化的な生活を送る権利がある。ためらわず申請していただきたい」と首相は答弁しました。この言葉が全国津々浦々まで行きわたる様に運動を起こしたい。市民と野党が結集して「憲法が生きた政治に変えよう」と声を大きくしていきましよう！



北見生活と健康を守る会 副会長 神田 優